

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「クラ・ゼミ」札幌東苗穂校第2		
○保護者評価実施期間	2024年11月10日 ～ 2024年12月14日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	55 (回答者数)	42
○従業者評価実施期間	2024年12月2日 ～ 2024年12月21日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8 (回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月14日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	送迎業務により、自己通所が難しい方にもご利用いただくことが出来る。特に学校/幼稚園との連携を強化し、要望に沿った送迎計画を立案する事が出来る。	時間に余裕を持った行動の実践	送迎方面の集約により、多くの方が送迎車両を利用する事が出来る取り組み
2	他に完全個別療育事業所が無い地域柄、ピンポイントでの問い合わせが多く、個々のニーズに深く対応する事が出来る。	地域の関係機関との関係構築を行い、療育に生かすことが出来ている。	完全オーダーメイド療育の更なる構築と、他施設との差別化の強化
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設構造が個別療育対応に向けているため、手狭さが否めない。	開所時(2018年)の法基準によるもの	レイアウト変更等により、小集団イベントにも対応できるよう対応してる。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 子どもサポート教室「クラ・ゼミ」札幌東苗穂校第2

公表日 2025 年 2 月 15 日

利用児童数 2024年12月14日 4 7名

回収数 3 6名 (76.6%)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23	8	1	4	・個別なので、十分に確保されていると思う。 ・まったく問題ない。	利用者様ひとりひとりに不自由をお掛けしない配慮を続けます
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	28	3	0	4	・基準を満たしていると思う。 ・職員の人数も増えて、支援が手厚く受けられる状態だと思う。	この状態を継続して参ります
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	23	6	1	6	・2階まで階段なので、バリアフリーではない。 ・室内はバリアフリーである。 ・生活空間は子どもに分かりやすい。	階段での事故防止の高い安全柵設置など、出来る安全策を講じております
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	29	0	0	7	・いつも清潔に保たれている。 ・活動場所も学習場所や遊ぶスペースなど分かりやすい。	落ち着いて療育を受けて頂ける環境に配慮する事を続けます
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	33	3	0	0	・受けられている。 ・面談をしていただき、支援の内容を含め、日々尽力してくれていると感じている。	この状態を継続して参ります
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	35	0	0	1		この状態を継続して参ります
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	36	0	0	0	・ニーズに沿った支援内容である。 ・スタッフの方の分析力が高く、子どものことを分かってくれている。 ・必要な支援計画を作成してくれている。	この状態を継続して参ります
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	35	0	0	1	・適切に設定されていると思う。	きめ細やかなコミュニケーションに配慮する事を今後も継続致します
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	36	0	0	0	・計画に沿った支援をしてもらっている。 ・とても丁寧な支援をいただいている。	きめ細やかなコミュニケーションに配慮する事を今後も継続致します
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	33	2	0	1	・工夫されていると思う。	全職員での情報共有を密にし、今後も一貫した療育を提供させて頂くよう努力いたします
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7	5	8	16	・機会はないが、必要性を感じていない。	個別療育のため保護者会等はありませんが、気軽な座談会等も不定期に開催しておりますので多くのご参加をお待ちしております
保 護	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	35	1	0	0	・契約時に説明していただいた。	この状態を継続して参ります
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	35	0	0	1	・説明していただいた。	今後もより効率的な情報伝達を行って参ります
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	17	1	6	12		この状態を継続して参ります
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	31	4	0	1	・連絡帳を通して、様子を詳しく教えてもらっている。 ・子どもの性格や苦手なことなど理解できていると思う。 ・保護者が迎えに行くことが減り、直接伝えあうタイミングが減ってしまったが、連絡帳で確認できている。	個人情報保護について今後も万全を期して参ります
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	33	2	0	1	・定期的に面談があり、色々な話を聞ける機会がある。	きめ細やかなコミュニケーションに配慮する事を今後も継続致します

者 へ の 説 明 等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	33	2	0	1	・職員が子どもの話をよく聞いてくれて、優しく対応してくれている。 ・子どもの意思を尊重しつつ、活動を進めてくれている。 ・とてもよくしていただいている。	全職員での情報共有を密にし、今後も一貫した療育を提供させて頂くよう努力いたします
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	11	4	9	12		個別療育のため保護者会等はありませんが、気軽な座談会等も不定期に開催しておりますので多くのご参加をお待ちしております
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	29	1	0	6	・適切に対応してくれている。	この状態を継続して参ります
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	34	2	0	0	・連絡帳にて、日頃の活動など細かく伝えてくれている。	今後もより効率的な情報伝達を行って参ります
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	33	1	0	2	・定期的に発信されている。	この状態を継続して参ります
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	27	1	0	8	・されていると思う。	個人情報保護について今後も万全を期して参ります
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20	2	1	13	・マニュアルについては説明している。	この状態を継続して参ります
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19	3	0	14	・問題ないと思う。	適宜、参加していただけるよう配慮致します
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	24	1	0	11		今後も十分に配慮した環境を保つ体制を確保致します
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	31	1	0	4	・まだ事故や怪我をしたことがないが、もしそういうことがあればすぐに連絡が来ると思う。	万が一の際は、迅速に最善策を実施致します
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	35	0	0	1	・先生が優しいと言っている。 ・慣れてきて自分らしさが出せている。 ・安心して通所できている。	この状態を継続して参ります
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	32	2	1	1	・イベントもあり、メリハリがあっていいと思う。 ・クラ・ゼミが日課になって、少しずつ成長できている。	通所の度にひとつでも喜びを感じて頂けるよう療育に当たります
	29	事業所の支援に満足していますか。	35	1	0	0	・とても満足している。 ・子どもが安心して通所できているのは、スタッフの皆様のおかげ。 ・スタッフがみんな優しく安心。	全ての利用者様に満足して頂ける事業所づくりに邁進いたします

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 子どもサポート教室「クラ・ゼミ」札幌東苗穂校第2

公表日 2025 年 2 月 15 日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		スペースの確保	出来るだけひとりひとりの空間を広く確保する配慮を継続する
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		適切に対応している	完全個別療育を確保する
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		事業所内はバリアフリーである	衝動性のあるお子さんが来所する時には、あらかじめ危険なものは撤去するなど工夫が必要。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		清掃や整備を徹底している	老朽化に伴う備品等の更新が必要な時期のものもある
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個室が完備されている	個室のため目を離すことが内容配慮が必要
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		参加している	研修や情報共有の徹底
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		例年実施し、HPに公表	100%の提出率になるように対策
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		運営会議、職員面談、1on1の実施	面談の全職員の実施均等化
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	実施していない	地域へ広く公開する事の必要性
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		研修制度が確保されている	業務の関係で研修への完全参加にならない事の改善
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		HPに公表、行政への申請	規定通り実施している
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		確実に作成している	今後も継続
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		毎月1～2回の会議実施により全職員で共有している	個別支援計画等、本来の作り方などを再確認して統一する必要性。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		実施している	支援の引き継ぎを、もう少し綿密に行う必要性。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		確認している	今後も継続
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		設定されている	今後も継続
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		実施している	今後も継続

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		固定しないよう配慮しているが、継続の必要性から「固定化」に取られる可能性がある	支援計画についても、支援目標・内容については、適宜変更の必要性。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		イベントが中心となっている	児発小集団について、本格的に話し合う必要性がある。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼の実施	担当に任せず、協力していく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		終礼の実施	長い時間をかけての協議が必要
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		徹底している	今後も継続
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		実施している	今後も継続
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	○		徹底している	今後も継続
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		徹底している	自己決定として何でも許すのではなく、職員間で共有した線引きが必要。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		徹底している	今後も継続
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		学校、幼稚園との連携実施	今後も継続
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		実施している	今後も継続
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		実践している	今後も継続
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		実践している	今後も継続
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		実践している	今後も継続
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	件数は少ないが実践している	今後は強化する
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○	未実施	今後は検討
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		面談、電話等での情報共有の徹底	更に強化をしてゆく
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		全員ではないが実施	完全実施を目指す必要あり
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		完全実施している	今後も継続
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		完全実施している	今後も継続
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		完全実施している	今後も継続

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		出来るだけタイムリーに対応している	送迎利用者様多いため、対面が難しいところがあるが、今後は更に徹底
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○	未実施	気軽な座談会を実施してゆく
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		対応している	今後も継続
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		HP、LINE、Instagramを活用している	今後も継続
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		特に配慮している	今後も継続
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		特に配慮している	今後も継続
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	地域への開放が進んでいない	イベントや見学機会を広く発信してゆく必要あり
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		実施している	今後も継続
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		実施している	今後も継続
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		申告を受けた事について対応	保護者から申し出があった場合のみ。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	未実施	医師の指示書があった例はない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		実施している	今後も継続
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		周知している	今後も継続
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		実施している	今後も継続
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		対応している	今後も継続
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		記載している	今後も継続